



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

- | | | |
|--------------|--|------------------------|
| 国際会長主題 | 「ともに、光の中を歩もう」(Let Us Walk in the Light Together) | Henry Grindheim(ノルウエー) |
| アジア太平洋地域会長主題 | 「ワイズ運動を尊重しよう」(Respect Y's Movement) | Tung Ming Hsiao (台湾) |
| 東日本区理事主題 | 「広げよう ワイズの仲間」(Extension Membership & Conservation) | 栗本 治郎 (熱海) |
| 東新部部長主題 | 「E人(イーヒト)になろう！」 | 伊藤 幾夫(東京多摩みなみ) |
| クラブ会長主題 | 「ワイズに参加し 奉仕する喜びを伝えよう」 | 寺門 文雄(東京世田谷) |

Join us to Y's, & pass on pleasures thru services.

会長 寺門 文雄
副会長 松井 直樹
書記 太田 勝人

2017年12月会報

強調テーマ

* EMC/MC *

会員増強&維持啓発

会計 小原 武夫
直前会長 岩崎 弘
担当主事 岡田 ナスカ

↑今月の聖句

マリアは言った。「わたしは主のはしためです。
お言葉どおり、この身に成りますように。」
そこで天使は去って行った。

"I am the Lord's servant," said Mary; "may it
happen to me as you have said."

And the angel left her,

ルカによる福音書1章38節

(小川 選)

<第1部クリスマス礼拝>

- | | |
|------------------------|------------------|
| 司式 | (ナザレン教会) 坂本 誠 牧師 |
| 司会 | 小川 圭一 君 |
| 1. 前奏 | 佐藤百合子さん |
| 2. 讃美歌 109番「きよしこのよる」 | 一同 |
| 3. 祈禱 | 司会者 |
| 4. 聖書 ルカによる福音書1章26~38節 | 司会者 |
| 5. 説教「お言葉どおりになりますように」 | 坂本 誠 牧師 |
| 6. 祈禱 | 坂本 誠 牧師 |
| 7. 讃美歌 112番「もろびとこぞりて」 | 一同 |
| 8. 祝禱 | 坂本 誠 牧師 |
| 9. 後奏 | 佐藤百合子さん |

<第2部：クリスマス祝会>

- | | |
|---------------|---------|
| 司会 | 太田 勝人 君 |
| 1. 開会点鐘 | 寺門 文雄会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 寺門 文雄会長 |

※12月例会プログラム

とき 12月15日(金) 18:30~20:30
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

11月のデータ	会員在籍 15名	例会出席者 11/17日	11月のBF 切手 0g 現金 0円 累計切手 0g	ニコニコファンド 11月 8,754円 年度計 45,436円
	出席率 80%	会員 12名 メネット 0名 メイキャップ 0名 ゲスト 1名 ビジター 2名 合計 15名		
第2例会 11/24日(金) (9名出席) 岩崎、太田、小川、小原、 川嶋、寺門、張替、村野、 岡田、	すずらん会参加者 11/24日(金)	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2017年11月6日 社団法人日本 キリスト教海外医療協会に年会費 10,000円を納入し継続しました。	JOCS累計 使用済み切手と併せて 注：JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティーコ ンサートではかねてよりJOCSへ の応援を行っている。 使用済み切手とワンコインの 献金など。	
	ゲスト 34名 スタッフ 11名 合計 45名			

- 4. 食前の祈り 峰 毅 君
- 5. 会食
- 6. 楽しく歌って & オークション
- 7. ハッピーバースデー： 1日 佐藤百合子さん
8日 岡田ナスカさん
- 8. 諸報告
- 9. 閉会点鐘 寺門 文雄 会長

※ 本日のメインプログラム

いよいよクリスマス、世界中の子供から高齢者に至るまで2000年の時を経た今年も、私達ワイズメンの仲間達と共に祝い出来る喜びを感謝しています。

12月15日の例会、第1部クリスマス礼拝は、ナザレン教会の坂本真牧師をお招きし、『お言葉どおりになりますように』との説教を頂き、第2部祝会には、元気になられた太田さんの司会によるクリスマスソングやオークションなどによりイエスキリストのご生誕を祝福したいと願っています。

寒さの厳しくなる歳末になりますが、どうぞ風邪などに気を付けられ新しい年に向け共に頑張りたいものです。
(寺門 記)

※ 11月例会報告

東新部が10年で180名いたワイズが、90名と1/2になる中、主事を除いたワイズの平均年齢が、85才というクラブも出現しています。我が世田谷クラブも洩れずに、平均年齢が75才と後期高齢者の範疇となる中、EMCと声高に叫んでも、40代前後の加入候補者を、実質的には老人クラブ化した現行クラブに、継続在籍させるには志向が大きく異なり、負担は大きいと思われます。



今後は構造的に部内の高齢化が加速急速に進行し、多くのクラブが機能不全に陥り、部内が半分の45名になるのは5年前後?と予測されます。実質的に活動に参加している、10年後の人数は推して知るべし。

上記の現況を踏まえても海の向こうの事も大変に大切ですが、寺門会長が提唱する時代に即応した、生活に根ざした地域プログラム、殊に高齢者向けの活動の展開は、クラブの生き残り戦略に於いても喫緊の課題です。

今回、区社会福祉協議会で高齢者の地域福祉業務を担っている阿藤氏から、これから日本国が初めて経験する、想像を絶する超高齢社会(クラブだけでなく)を迎える

に当たり、住民の助け合いの輪を、区民全員で広げていく事の大切さなど地域包括ケアの話聞く事で、多くの示唆を得る事ができ、地域に貢献するクラブを創る上で貴重な内容となりました。

阿藤氏とは世田谷区の地域福祉づくりで、守旧派と20年間共に闘ってきた同士ですが、今回の卓話を聞いて教授講義と異なり、机上でなく血の通った実践を言語化する、現場からの声が一番心に響くと再認識しました。

(峰 記)



太田さんの快気をお祝いして

※ 第2例会報告

日時：11月24日(金)16:00~17:30

場所：東京YMCA南センター2階会議室

出席者：寺門会長、岩崎、太田、小川、小原、川嶋、張替、村野、岡田の9名

打ち合わせ事項

*12月のブリテン内容決めと担当割り振り

原稿締切りは12/2(土)、印刷日は12/5(火)16:00

報告事項

- ① 次期クラブの役員体制
- ② 次次期東新部役員体制
- ③ YMCA関係(「ソシアス2017」・「国際クリスマス祝会」・「3法人合同クリスマス祝会」・「在京ワイズ新年会」等と参加者)

協議事項

- ① 「在京ワイズ新年会」への出席者確認とホストクラブへの報告
- ② 新クラブ「(仮)町田地域ワイズメンズクラブ」の進展状況報告と世田谷クラブとしてスポンサークラブとなってもらいたい提案と協議—もう少し実態が見えてきたところで再度協議したいで一致
- ③ 今後の卓話予告 1月、2月
「YMCA報告 岡田担当主事よりあり」

(太田 記)

※ 東新部評議会に参加して

11月18日(土)2017~2018年度第2回東新部評議会に参加。東京YMCA山手センターに集い部長主題「E人(イーヒト)になろう!」との伊藤幾夫部長による世田谷クラブ公式訪問報告の中で佐藤百合子さんの入会について

特記事項であると紹介された。

さらに部長からエクステンション委員長としての太田勝人さんの主導する町田地域に新クラブ設立の準備会については、太田さんの体調不良のこともあり、多少の遅れはあっても、彼の回復を待ち今後順調に推移すると期待されると述べられた。

次次期部長として世田谷クラブから小川圭一さん・書記太田勝人さん・会計寺門文雄が承認された。また残念ながら信越妙高クラブは今年度末をもって解散することになり3月にお別れパーティーを小川さんにより妙高で行う予定。参加者は小川・太田・寺門。

(寺門 記)

※「(仮)町田地域ワイズメンズクラブ」の

進展状況

東新部、いや東日本区として最重点目標である“エクステンション運動”の任務を拝命し、微力ながら新クラブを設立すべく行動しております。

「(仮)町田地域ワイズメンズクラブ」について、松香実行委員長を筆頭に、コスモスクラブ、まちだクラブとも話し合い伊藤部長、伊丹EMC主査にも入っていただき、8月より毎月一回会合を持って参りました。

特に、松香さんは、ご自宅の居間を解放してくれて打ち合わせ場所代無料で行っています。感謝です。

11月の時点では、入会の候補者が8名ほど(ワイズの現会員を除いて)挙がり、何を町田地域で行うか、何を理念とするかなど“設立趣意書”作成で議論を重ねてきました。

11月以降は設立準備会にステージを上げて、具体的な目標に向かって進めていきます。

ワイズダム発展の為、皆々様のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

(太田 記)

※ ソシアス 2017 に参加して



11月25日(土) 好天に恵まれた、東京YMCA江東幼稚園・江東コミュニティーセンターに於いて、10:00~15:00 会員とスタッフとの交流を深める為の集い「ソシアス2017」が開催され、50有余名が参加した。

YMCA ブランディングストーリーがビデオ映像を交えて紹介され、あらためて「みつかる、つながる、よくなっていく」統一ブランドの意義を共に確認しあった。さらに、江東幼稚園の成り立ち、地域に密着した運営がされていることが湯浅慶氏より紹介された。

午後から、砂で覆われた園庭に於いてバーベキューでお腹を満たし、



新しいスポーツ「ガガ」(ドッジボールの一種)も楽しく体験、それぞれのセンターのスタッフとの交流も深め、有意義な一時を過ごせた。

寺門会長、小川、小原が参加。

(小原 記)

※ アメリカの思い出

私は、1990年から2010年まで米国で仕事をする機会を得ました。この間にアメリカ人の国民性を垣間見る二つの事柄を経験しました。一つは、2009年9月に世界を震撼させた、アラブのテロリストによる、ニューヨークのワールドトレードセンターへのハイジャック機による攻撃です。もう一つはその前年に起きた、アメリカ中西部からニューヨークに及んだ大停電でした。アメリカは多民族国家で、普段は人種問題、地域格差、収入格差等で、日本人から見ると国が統一していない感じを受けます。この二つの事件のような事が起きるとまさしくアメリカ合衆国になります。大停電が起きた時は、地下鉄が止まり、信号が付かない道路で、まったく知らない者同士が、手をつないで、真っ暗な道路を歩いて帰宅する様子が米国では普段アメリカでは見られない事として大きくメディアで報じられました。また9・11は、米国にとっては青天の霹靂でしたが、この時も正に国が一つになって亡くなった一般の人々、警察官、消防士らの勇敢な振る舞いや、これらの亡くなった方々を支援する様子も繰り返し報道されました。その後にご年配の方に、太平洋戦争の始まりとなった、日本軍の真珠湾攻撃の際も全く同様な現象が見られたそうです。初めに書きましたが、単一民族で構成される日本とは、異なり、米国は多民族国家ですから、国が一つにまとまるということはそう頻繁に起こる事ではなさそうと強く感じました。私は、今米国は、南北戦争当時と同様に国が分断されているのではないかと強く危惧しています。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、南北戦争では、100万人近くの方が亡くなっています。私は、アメリカが国難にどのように反応するか身をもって知った訳ですが、ドナルド・トランプ大統領が、北朝鮮のミサイルと水爆の脅しに絶対感情的に反応しない事を切に願っています。

(朝倉 記)

※ 社協主催の イキイキ演芸会で

去る 11 月 19 日(日) 午後。経堂の鷗友学園女子中学高等学校ホールを会場に、「みんなで歌いましょう♪」とすずらん会の出前を行いました。生徒たちのオーケストラやブラスバンドと同じステージで楽しみました。

特筆すべきは、社協側の委員長さん、日本区理事を勤められた藤本ワイズ(東京むかで)のコメント和美さんであったこと。これを機に、バザーやクラブ例会に参加なさっています。



◆ 2017年のアドベント

キャロリング in シモキタ 4年目です



大げさですが、日本とアジアの平和のために、日本語と英語と韓国語で「きよしこの夜」を歌いました。同盟総主事のお祈りを借用して「クリスマス休戦の提案」です。12月2日、お天気にも恵まれて20人ほどが集いました。このプロジェクト、夢は0422クリスマスで、地域の教会やすずらん会の仲間が集って、ハレルヤコーラスが歌いたいのです。(小川 記)

※ 会長通信 1712

80歳を超えた年代となりますと、高齢化の進展スピードは、体力の衰えと共に自らの意思に反して日に日に早まっていくものだと痛感しています。老後の深交を深め合う最適の場としてのワイズメンズクラブは、絶滅危惧種に落ち込まないようにするにはどう対策を講じるかという古くして新しい今日も背負っている重い課題であると思います。

今私共は、新入会者を迎えるにあたり如何にして継続的なご奉仕を期待するか大きな難問として問い掛けられています。ワイズは何を目的に活動するか足を止めて振り返ることが必要ではないかと。親睦団体なのか、奉仕団体なのか、その両方の目的を兼ね備えた団体なのか。胸襟を開いて徹底的に議論すべきではないでしょうか。

そこで一案ですが、現在の会員増強策を推進し乍ら一方では、例えば社協やNPO等福祉団体等との共催プログラムとして、健康な高齢者などを対象とした専門家による講習会やセミナーの開催は如何なものか、シニアボランティアに呼びかけ共に活動に共鳴しながらワイズ運動に参加を呼びかけられないか。

非常に時間のかかる作業になるかと考えられますが次世代にバトンタッチするためには現在のエクステンション活動と車の両輪の様に展開することは出来ないだろうかと思ひ描いています。

(寺門 記)

*今後の卓話予告

- 1月 新春放談会一夢を語ろう
- 2月 企画中
- 3月 東京西クラブとの合同例会

*今後のスケジュール

- 12/ 8 (金) 下北沢すずらん会
 - 12/ 9 (土) YMCA 国際クリスマス祝会
 - 12/13 (水) YMCA 3 法人合同クリスマス祝会
 - 12/20 (水) ボラセン歌の広場、三茶
 - 12/22 (金) YMCA すずらん会 第2例会
 - 1/12 (金) 下北沢すずらん会
 - 1/13 (土) 在京ワイズ新年会(会長会)
- 於：しのめYMCA こども園

※ YMCA NEWS

11月12日、26日と港区からの委託事業である知的障がい者の活動「いちよう学級」が行われました。南センターでは、毎月1、2回程度で1年間を通しての余暇活動を実施しています。現在「いちよう学級」は、16歳から50歳代の方まで60名ほどの方が登録をされています。みなさん養護学校を卒業されてからは、仕事以外の余暇を楽しく過ごすようなイベントが少なくなります。保護者の方も余暇を楽しく充実して過ごしてほしいというのが願いです。私たちもその想いに答えられるように、活動内容を多彩に充実させたいと毎月の計画をしています。

YMCA が障がいを持った方々と活動を共にする目的には、充実した余暇を過ごしてほしいということ、保護者の方々の時間を作っていただくこと、そして障がいを持つ方々とボランティアリーダーが出会い、社会の中での理解者を増やしていくことがあります。多様性を受け入れ、誰もが居心地の良い社会を生み出していくことの願いがYMCAの活動の中には込められています。

【東京YMCA・南センター今後の予定】

- 12月2日 南センター子どもクリスマス会 (経堂緑が丘教会)
- 12月9日 YMCA 国際クリスマス祝会 (東陽町)
- 12月14日～17日 リーダートレーニング (妙高・尾瀬)
- 12月22日 YMCA すずらん会
- 12月26日～30日 スキーキャンプ (尾瀬・菅平)
- 1月4日～7日 スキーキャンプ (尾瀬)